

防災訓練・ワークショップ・講演のほか、「そなえるカルタ・ドリル」英語版作成など協働 三菱地所レジデンスと杏林大学が産学連携で防災まちづくり

三菱地所レジデンス株式会社と杏林大学は、これまで連携して防災に取り組んで参りましたが、この度更なる防災力強化を目的とした「防災協定」を締結しました。

今後は、地域とのワークショップや講演会の実施のほか、防災ツール「そなえるカルタ」「そなえるドリル」の英語版を作成し、日本で生活をする外国人の方にも伝えるなど、防災活動を進化させていきます。なお、「そなえるドリル」の英語版は3月9日より一般公開します。

杏林大学は米国ポートランド州立大学とともに2017年より毎年、「災害に備えるまちづくり」フィールドワークを、東日本大震災で被災した三陸地域や首都直下地震に備える東京等で行っています。

その一環で2019年6月に三菱地所グループや、三菱地所レジデンスが供給した千葉県習志野市津田沼奏の杜のマンションを訪問して、防災を軸にしたまちづくりの知見を共有しました。首都直下地震に備える都市部の企業や首都圏近郊の住宅の防災対策について学んだことをきっかけに、日本に住む外国人の方にも防災への備えを普及する必要性があると考え、今回「防災協定」を締結して防災ツール「そなえるドリル」と「そなえるカルタ」の英語版を協働して作成することとなりました。

なお、2019年9月には、杏林大学と三菱地所レジデンスとで防災ツール「そなえるドリル」を活用した地域防災に関するワークショップも開催しました。同ワークショップには、杏林大学や三菱地所レジデンスをはじめ、杏林大学キャンパス周辺の地元防災組織、防災の取り組みを通じてつながった他エリアの自主防災組織や他の学校法人も参加するなど、エリアや学校、企業の枠を超えた防災コミュニティが徐々に広がりを見せています。



▲ポートランド州立大学・杏林大学のフィールドワークの様子
(三菱地所グループの取り組み共有)



▲「そなえるドリル」を活用した地域防災ワークショップの様子

三菱地所グループは長期経営計画で定めた持続可能な社会の実現に向けた「三菱地所グループのSDGs 2030」における4つの重要テーマの一つ「Resilience」として「安全安心に配慮し災害に対応する強靱でしなやかなまちづくり」を進めています。三菱地所レジデンスと杏林大学は今後より一層、防災への取り組みを連携・協力して実施し、災害に強いコミュニティやまちづくりを推進してまいります。



■防災協定の締結日

2020年2月29日

■防災協定の内容

- ・防災訓練・ワークショップ・講演等における協力
- ・防災ツール「そなえるカルタ」「そなえるドリル」の活用を含めた防災活動の進化に関する検討および実施協力、実施結果の共有
- ・杏林大学による「そなえるカルタ」「そなえるドリル」の英文訳および三菱地所レジデンスによる英語版「そなえるカルタ」「そなえるドリル」の作成

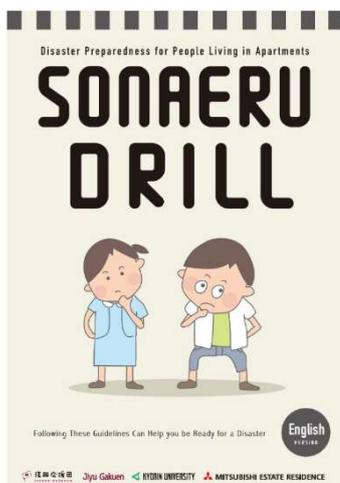


■防災ツール「そなえるカルタ」「そなえるドリル」について

「そなえるカルタ」は、東日本大震災等の生の声を届けるために、被災時に実際に困ったことを「トイレ」「食糧」「情報」といった切り口で紹介。

「そなえるドリル」は、子どもと大人が家族を想定して考える防災ツール。子ども自身がドリル形式で回答を埋めていくと家族の防災計画書が出来上がります。子どもが大人と相談しながら答えを出していくことで大人も巻き込んだ具体的な行動につながります。

どちらのツールもウェブサイト (<https://www.mecsumai.com/bousai/drillkaruta/index.html>) にて一般公開されており、どなたでも利用できます。



2020年3月9日より英語版「そなえるドリル」を一般公開しています。



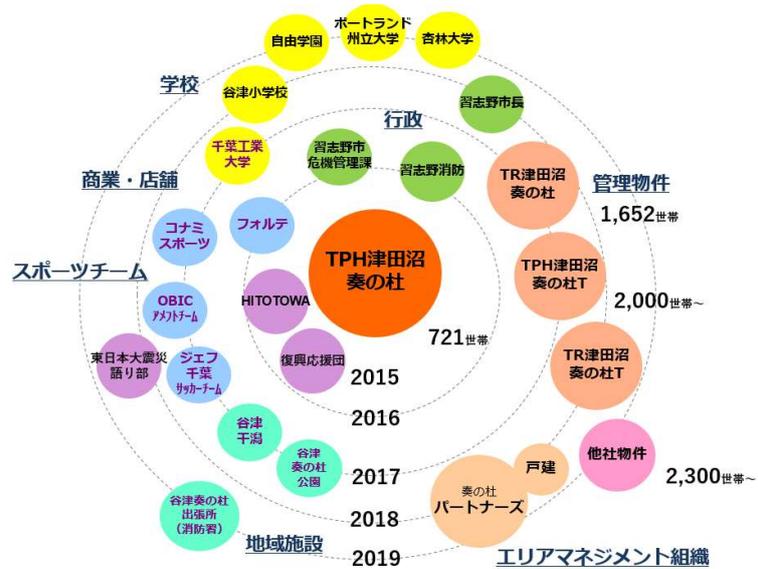
■三菱地所グループが進める防災まちづくりの事例

千葉県習志野市「奏の杜（かなでのもり）」エリアでは、まちで助け合うことを目指し、三菱地所グループが分譲・管理している物件に加え、他社分譲・管理物件も含む計6棟・約2,300世帯、戸建て約100戸を対象とした防災訓練を継続して実施しています。

2015年3月に「ザ・パークハウス 津田沼奏の杜」（721戸）で始まった防災訓練は、同エリアの「ザ・パークハウス 津田沼奏の杜テラス」、「ザ・レジデンス津田沼奏の杜」、「ザ・レジデンス津田沼奏の杜テラス」（計4物件1,943戸）をはじめ、三菱地所グループ以外の物件にも声をかけていくことでエリアや参加者が広がり、今では地域の大学、商業施設・スポーツチームも巻き込んで活動しています。

津田沼奏の杜エリア防災

2,300世帯対象



■長期経営計画 2030 で定めた「三菱地所グループのSDGs 2030」



三菱地所グループは、サステナブルな社会の実現に向けて、「Environment」「Diversity & Inclusion」「Innovation」

「Resilience」の4つの重要テーマについて、より幅広いステークホルダーに、より深い価値を提供します。

「Resilience」への取り組み：「安全安心に配慮し災害に対応する強靱でしなやかなまちづくり」

- ・防災対策を強化し災害時の機能停滞を極小化
- ・ハード面の対策によるBCP機能の高度化とエリアコミュニケーションを強化する